



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和4年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和4年2月17日

事業名	新宿区民間提案制度について	予算(案)の概要	134 ページ
予算額	令和4年度予算額 (前年度予算額)	1,210 千円 0 千円	(新規)
取材先	総合政策部行政管理課長 原田 (電話 03-5273-4245)		

これまでの取組

区では、「公民連携」を推進し、区民や地域団体、NPO法人、事業者等と連携し、行政サービスの提供やまちづくりに取り組んできました。

【取り組み事例】

1 公的不動産の貸付

旧学校施設等を民間事業者等へ貸し付け、地域活性化や財源確保などに有効活用しています。

例) 旧淀橋第三小学校の日本芸能実演家団体協議会への貸付けによる、財源の確保と文化芸術振興



旧淀橋第三小学校(こどもの日イベント)

2 Park-PFI

民間事業者の飲食店等の設置・管理による、賑わいづくりや公園利用者の利便性の向上などを図る制度です。

例) 新宿中央公園の「SHUKNOVA(シュクノバ)」
(令和2年7月16日オープン)



SHUKNOVA(シュクノバ)

3 ネーミングライツ

民間事業者等が、公共施設等への命名権を、対価を支払い取得する制度です。

例) 新宿中央公園の「日本のキレイ&TOKYO リンレイトイレ」
(平成30年7月開始)



日本のキレイ&TOKYO リンレイトイレ

4 歌舞伎町ルネッサンス

区と地元商店街振興組合、町会、関係行政機関、ボランティア等が一体となり、「歌舞伎町を誰もが安心して楽しめるまちに再生する」ための取り組みです。環境美化活動やシネシティ広場等を活用したイベント開催、まちづくり等に取り組んでいます。



歌舞伎町シネシティ広場

5 公園サポーター制度

区民や法人等が「公園サポーター」となり、自主的に公園を育てる(管理する)ことにより快適な公園環境の実現を図っています。



サポーター制度により整備された花壇

【背景】

- ・子育て支援や高齢化社会への対応
- ・災害や感染症などの新たな課題への対応
- ・地域コミュニティへの支援
- ・行政のデジタル化の推進
- ・老朽化した公共施設への対応

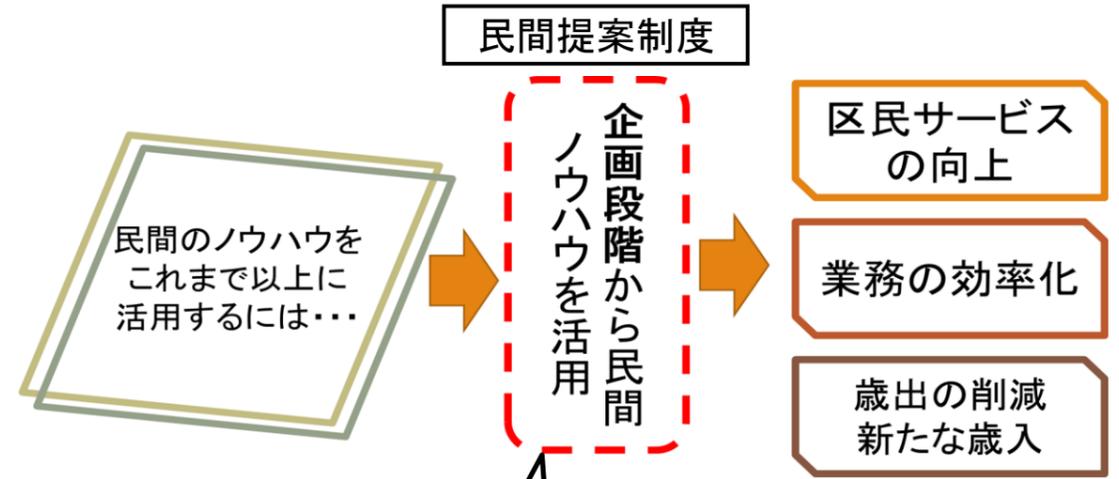
新たな行政課題等への対応

多様化・複雑化する区民ニーズへ対応するためには、「民間の専門性や柔軟な発想の活用」、「業務の効率的な運用」等がこれまで以上に必要となる。

企画段階から民間のノウハウを活用することが必要

民間提案制度の導入

事業の実施段階だけでなく企画段階からも民間のノウハウを活用し、幅広い分野で公民連携を推進するために民間提案制度を令和4年度から導入します。



【想定事例】

- ・ICTの利活用による高齢者や子供の見守り
- ・地域コミュニティの活性化への取り組み
- ・地場産業や商店街の活性化への取り組み
- ・地域の災害対策支援
- ・窓口等へのICTの導入による利便性の向上
- ・公共空間の有効活用
- ・公共施設の維持管理の包括的民間委託による効率化
- ・シェアリングエコノミーの活用
- ・PFS(成果連動型民間委託契約方式)による社会課題の解決
- ・民間資金を活用したソーシャル・インパクト・ボンドによる社会課題の解決
- ・PFIによる民間資金等を活用した施設整備



民間提案制度の流れ

